

平成27（2015）年度
事業報告書

自 平成27（2015）年 4月 1日
至 平成28（2016）年 3月31日



公益財団法人 日本盲導犬協会

横浜市港北区新吉田町6001-9
TEL:045-590-1595 FAX:045-590-1599

I. 公益目的事業

1. 盲導犬育成事業

(1) 視覚障がい者に対する歩行指導及び盲導犬貸与

本年度、44頭の盲導犬を育成し、46ユニットの視覚障がい者に対する歩行指導及び盲導犬の貸与を実施した。

46ユニットの内訳は、神奈川訓練センター（以下、神奈川センター）24頭25ユニット、仙台訓練センター（以下、スマイルワン仙台）9頭9ユニット、日本盲導犬総合センター（以下、富士ハーネス）6頭7ユニット、島根あさひ訓練センター（以下、島根パピネス）5頭5ユニット。代替が24頭26ユニットで、新規が20頭20ユニットであった。

登録番号	盲導犬使用者		盲導犬			卒業年月日	新規 代替
	性別	都道府県	犬種	色	性別		
日本-707	女	愛知県	LABR	B	雄	2015年4月4日	代替
日本-708	女	青森県	LABR	Y	雌	2015年5月7日	代替
日本-709	男	東京都	LABR	Y	雌	2015年5月9日	代替
日本-710	男	新潟県	LABR	Y	雌	2015年5月11日	代替
日本-711	男	東京都	LABR	B	雄	2015年5月22日	代替
日本-712	男	神奈川県	LABR	Y	雌	2015年6月1日	新規
日本-713	男	東京都	LABR	B	雄	2015年6月2日	代替
日本-714	女	新潟県	LABR	Y	雌	2015年6月26日	代替
日本-715	女	神奈川県	LABR	B	雄	2015年7月3日	代替
日本-716	男	新潟県	LABR	B	雄	2015年7月3日	代替
日本-717	男	山梨県	LABR	B	雄	2015年7月4日	新規
日本-718	男	島根県	LABR	Y	雄	2015年7月4日	代替
日本-719	女	千葉県	LABR	B	雌	2015年7月10日	代替
日本-720	女	埼玉県	LABR	Y	雌	2015年7月15日	代替
日本-721	男	千葉県	LABR	B	雄	2015年7月23日	代替
日本-722	男	島根県	GLDR	G	雌	2015年7月30日	新規
日本-723	男	神奈川県	LABR	Y	雌	2015年9月10日	新規
日本-724	男	東京都	LABR	B	雄	2015年9月14日	代替
日本-725	女	茨城県	GLDR	G	雌	2015年9月14日	新規
日本-726	女	福島県	LABR	B	雌	2015年10月1日	新規
日本-727	男	静岡県	LABR	B	雄	2015年10月9日	新規
日本-728	女	宮城県	LABR	B	雌	2015年10月9日	新規
日本-729	女	富山県	LABR	Y	雌	2015年10月19日	新規
日本-730	男	東京都	LABR	Y	雄	2015年10月30日	新規
日本-731	男	神奈川県	LABR	B	雄	2015年11月2日	新規
日本-732	男	神奈川県	LABR	B	雄	2015年11月2日	代替

日本-733	男	広島県	LABR	B	雄	2015年11月26日	新規
日本-734	女	神奈川県	LABR	B	雌	2015年11月27日	代替
日本-735	男	宮城県	LABR	B	雄	2015年11月27日	新規
日本-736	男	福島県	LABR	B	雄	2015年11月27日	代替
日本-737	男	東京都	GLDR	G	雄	2015年12月9日	代替
日本-738	男	山梨県	GLDR	G	雌	2015年12月12日	新規
日本-739	女	山形県	LABR	Y	雌	2015年12月14日	代替
日本-740	男	広島県	GLDR	G	雄	2015年12月16日	新規
日本-741	男	山梨県	GLDR	G	雄	2015年12月16日	代替
日本-742	女	埼玉県	LABR	Y	雄	2015年12月4日	代替
日本-743	女	東京都	LABR	Y	雄	2015年12月24日	代替
日本-744	女	埼玉県	LABR	B	雄	2015年12月28日	新規
日本-745	男	東京都	LABR	Y	雄	2016年2月1日	代替
日本-746	女	東京都	LABR	Y	雄	2016年2月1日	代替
日本-747	男	静岡県	LABR	B	雄	2016年2月19日	新規
日本-748	男	大阪府	LABR	Y	雄	2016年3月9日	新規
日本-749	女	神奈川県	LABR	Y	雌	2016年3月10日	新規
日本-750	男	東京都	GLDR	G	雄	2016年3月14日	代替
日本-751	女	島根県	LABR	B	雄	2016年3月15日	代替
日本-752	女	埼玉県	LABR	B	雌	2016年3月28日	新規

犬種：LABR はラブラドル・レトリバー、GLDR はゴールデン・レトリバー

色：Y はイエロー、B はブラック、G はゴールド

(2) 盲導犬の認定

本年度は、当協会以外の盲導犬認定は行っていない。

(3) 犬の飼育及び訓練

①候補犬の訓練

本年度に訓練した候補犬は176頭で内訳は次のとおり。なお、この期間に訓練に加わった犬は、176頭の内101頭である。

訓練終了犬	合格犬(盲導犬)	44頭
	合格犬(繁殖犬)	6頭
	キャリアチェンジ犬	59頭
訓練過程犬	未決定犬	67頭

②繁殖犬の頭数と繁殖状況

本年度に、雄5頭及び雌5頭(内：訓練犬(合格犬)6頭、外部購入4頭)を新たに繁殖犬として登録した。その結果、3月末現在で、雌33頭、雄16頭、計49頭の繁殖犬を保有している。なお、凍結精液は本年度協会内で作成した449本を含め4,390本を保有している。本年度の出産頭数は109頭、他協会などから子犬を5頭譲り受けた。

③パピーウォーキング委託状況

本年度に、新たにパピーウォーカー（以下、PW）に委託した頭数は132頭である。PWに対しては、スケジュールなどの共有を目的としたパピーカレンダーを3ヵ月に1回送付し、ワクチンや不妊手術、眼底検査の日程などスケジュール管理を計画的に行った。全センターにおいて、パピー評価とパピーの訓練導入を目的として、約1週間の預かり訓練「定期預かり訓練」を実施した。

④PWに対するしつけ指導

家庭訪問及びしつけ指導は訓練士資格を有している者が中心に対応した。PW家庭訪問は、神奈川センターで65回、スマイルワン仙台で61回、富士ハーネスで47回、島根パピネスで42回実施した。また、各訓練センターでしつけ指導（パピーレクチャー）を行い、神奈川センターで66日128回、スマイルワン仙台で28日39回、富士ハーネスで18日30回、島根パピネスで55日61回開催した。

島根あさひ盲導犬パピープロジェクトは、昨年度と同様6頭実施した。

⑤盲導犬の引退・ユニット解消状況

本年度に49頭、52ユニットの盲導犬が引退あるいはユニット解消した（内、3ユニットはタンデム）。

登録番号	盲導犬使用者		盲導犬			引退年月日	備考
	性別	都道府県	犬種	色	性別		
日本-366	女	秋田県	LABR	Y	雄	2015年4月10日	
日本-520	女	東京都	LABR	B	雌	2015年4月14日	
日本-400	男	新潟県	LABR	Y	雄	2015年4月25日	
日本-542	女	青森県	MIXB	Y	雌	2015年4月25日	
日本-582	男	東京都	MIXB	Y	雄	2015年4月29日	
日本-547	男	東京都	LABR	Y	雌	2015年5月11日	
日本-417	男	島根県	MIXB	Y	雄	2015年6月7日	
日本-401	女	新潟県	LABR	B	雌	2015年6月14日	
日本-380	女	千葉県	LABR	Y	雌	2015年6月22日	
日本-526	男	新潟県	MIXB	Y	雄	2015年6月22日	
日本-450	女	島根県	LABR	Y	雌	2015年6月22日	
日本-525	女	埼玉県	LABR	Y	雌	2015年6月22日	
日本-430	女	神奈川県	LABR	B	雄	2015年6月22日	
日本-369	男	群馬県	LABR	Y	雄	2015年7月16日	
日本-346	男	兵庫県	LABR	Y	雄	2015年7月17日	
日本-425	女	東京都	LABR	Y	雌	2015年7月30日	
日本-624	男	長野県	LABR	B	雄	2015年8月2日	
日本-715	女	神奈川県	LABR	B	雄	2015年8月16日	
日本-509	男	東京都	LABR	Y	雄	2015年8月24日	
日本-489	男	神奈川県	MIXB	Y	雄	2015年9月4日	

日本-396	男	神奈川県	LABR	Y	雄	2015年9月28日	
日本-656	女	神奈川県	LABR	Y	雌	2015年9月30日	
日本-382	女	東京都	LABR	Y	雄	2015年10月2日	
日本-499	女	東京都	LABR	Y	雌	2015年10月13日	
日本-395	男	東京都	MIXB	Y	雄	2015年10月19日	
日本-614	女	千葉県	LABR	Y	雌	2015年11月1日	
日本-405	男	東京都	MIXB	Y	雄	2015年11月2日	
日本-414	女	埼玉県	MIXB	Y	雌	2015年11月9日	
日本-411	女	神奈川県	MIXB	Y	雌	2015年11月9日	
日本-655	男	広島県	LABR	Y	雄	2015年11月10日	
日本-690	女	静岡県	LABR	B	雄	2015年11月10日	
日本-442	女	山形県	LABR	B	雌	2015年11月11日	
日本-420	男	静岡県	MIXB	Y	雄	2015年11月16日	
日本-593	男	福島県	LABR	B	雄	2015年11月16日	
日本-554	女	愛知県	LABR	Y	雌	2015年11月24日	
日本-612	女	東京都	GLDR	G	雄	2015年11月24日	
日本-392	女	青森県	LABR	B	雌	2015年11月30日	
日本-672	男	静岡県	LABR	B	雄	2015年12月4日	
日本-397	女	東京都	LABR	B	雌	2015年12月7日	
日本-438	男	東京都	LABR	B	雄	2016年1月16日	
日本-510	男	東京都	MIXB	Y	雌		タンデム
日本-511	女					2016年1月19日	
日本-737	男	東京都	GLDR	G	雄	2016年1月25日	
日本-436	女	神奈川県	MIXB	Y	雌	2016年2月22日	
日本-402	女	宮城県	MIXB	Y	雌	2016年2月29日	
日本-632	男	神奈川県	LABR	Y	雌	2016年2月27日	
日本-384	女	長野県	LABR	Y	雄	2016年3月7日	
日本-470	女	福岡県	LABR	Y	雌	2016年3月26日	
日本-501	男	福岡県	LABR	Y	雄	2016年3月26日	
日本-551	女	静岡県	LABR	Y	雌	2016年3月29日	
日本-606	女	岡山県	LABR	Y	雄	2015年6月9日	タンデム解消
日本-594	男	山梨県	LABR	B	雌	2015年12月16日	タンデム解消

⑥ 犬舎及び医療管理

予防医療として犬舎内医療を定着させ、疾病の早期発見を行った。治療に対しては、原因究明を徹底するため獣医師と連携し、早期治療に努めた。ケネルコフ等の対応や疾患の早期発見による医療管理体制も改善している。

PW犬、候補犬に対し、入所時、盲導犬貸与前メディカルチェック、遺伝性疾患のチェックを実施した。定例検査として、眼検査及び股関節検査を訓練センター入所犬に実施した。

⑦協会所有犬一覧

協会所有犬 一覧 (平成28年3月31日現在)										
区分	性別	頭数	飼育管理							
			訓練センター				使用者・ボランティア			
			神奈川	仙台	富士宮	島根	神奈川	仙台	富士宮	島根
繁殖犬	雄	16	0	0	0	0	16	0	0	0
	雌	33	0	0	0	0	33	0	0	0
	小計	49	0	0	0	0	49	0	0	0
パピー		132	0	0	0	0	82	18	21	11
訓練犬		67	18	19	14	16	0	0	0	0
盲導犬	雄	108	0	0	0	0	43	28	18	19
	雌	110	0	0	0	0	60	23	19	8
	小計	218	0	0	0	0	103	51	37	27
引退犬		143	0	0	0	0	89	32	15	7
繁殖引退犬		35	0	0	0	0	32	0	2	1
PR犬		30	3	2	5	4	10	5	1	0
合計		674	21	21	19	20	365	106	76	46

(4) 盲導犬使用者 (以下、ユーザー) に対するフォローアップ (以下、FU)

定期FUは、延べ302人に333回実施。定期FUの充実をはかるため、新規ユーザーには、「盲導犬新ユニット出発式」として1泊2日で各センター主催にて行った。

問題解決FUは、必要に応じて個別に訪問し、延べ256人に274回実施した。

(5) 盲導犬訓練技術・育成技術の向上

盲導犬訓練士のスキルマップを作成し、半期毎年2回のスキル評価を行い、各訓練士の課題を明確にして各訓練士の技術向上につなげた。また、スキルマップを基にした指導効果が定着。次期評価者育成を推進した。

歩行指導員候補生による共同訓練は13ケースであり、全てのケースに盲導犬歩行指導員がマンツーマン指導を行い、スキル評価し歩行指導技術の向上につなげた。

より安全で快適な歩行技術の開発として、他犬種、左右持ち替え、バーハンドル、雪道歩行研究を継続して行い、バーハンドルについては標準化を推進した。新たにウェアラブルカメラ等歩行補助機器の実用研究を行った。

2ケースの強度難聴と光覚の重複障がい者へ盲導犬を貸与した経験を基に、全盲全ろう者へ盲導犬を貸与した。

(6) 各種研修会等への参加

神奈川センターで行われた、日本盲人社会福祉施設協議会自立支援施設部会主催の職員研修会に職員が参加し発表を行った。同じく、神奈川センターで行われた全国盲導犬施設連合会主催の第1回盲導犬育成ジャパンセミナーに職員が参加し発表を行った。

また、リハビリ関連、医療セミナーなど各種研修会に積極的に職員を派遣し、外部講師を招き遺伝学や医療疾患に係るセミナーを協会内で実施した。

(7) 施設整備

神奈川センター及びスマイルワン仙台にドックラン施設整備、神奈川センター犬舎環境改善（暑さ寒さ対策、フリースペース）、富士ハーネス親子棟環境改善等を行った。

2. 盲導犬歩行指導員等育成事業

(1) 盲導犬歩行指導員・盲導犬訓練士の認定

全国盲導犬施設連合会が行った盲導犬訓練士等資格認定審査において、盲導犬歩行指導員審査に盲導犬訓練士1人が合格した。

3. 調査研究事業

(1) 共同研究・研究協力

盲導犬の成功率向上、健康面改善を目的に、東京大学、麻布大学による共同研究を継続しておこなっている。その他研究機関に対しても実験データ取得に協力した。

(2) 盲導犬の人工繁殖・育種技術の導入

遺伝性疾患低減に向け家系図調査・分析やデータベース化に取り組んでいる。研究継続していたスキムミルクを使用した凍結精液にて、交配に成功し2胎の子犬が誕生した。

4. ユーザーサポート事業

(1) 盲導犬歩行についての理解促進

盲導犬希望者に対し、体験歩行会（日帰り）と盲導犬説明会（1泊2日）を各センターで開催した。

体験歩行会は、神奈川センターで22回357人、スマイルワン仙台で29回392人、富士ハーネスで6回34人、島根パピネスで9回41人、延べ66回824人の視覚障がい者が参加した。

盲導犬説明会は、神奈川センターで12回42人、スマイルワン仙台で8回29人、富士ハーネスで10回10人、島根パピネスで5回6人、延べ35回87人の視覚障がい者が参加した。

(2) ユーザーコミュニケーション

ユーザー一人ひとりとのコミュニケーションをすすめるため、年1回のユーザーからの定期報告を直接電話で聞き取り、盲導犬歩行状況、生活状況を把握した。

また、盲導犬が6歳になるユーザーを対象に、盲導犬6歳時コミュニケーション会を開催し、17名が参加した。

- (3) 視覚障がい者在宅生活指導（白杖歩行訓練等）
 神奈川センター、スマイルワン仙台、富士ハーネス、島根パピネスにおいて、計148人に対し、657コマの訓練を行った。
- (4) リハビリテーション相談
 在宅指導希望者、短期リハ希望者、地域サポート希望者を含め132人に対し134件の相談に応じ、面接を実施して必要な助言等を行った。
- (5) 短期視覚障がい者リハビリテーション
 神奈川センター、スマイルワン仙台、富士ハーネスにおいて合計7回の短期リハビリテーションを実施した。参加者は合計22人で、内新規参加者は17人であった。
- (6) 視覚障がい児キャンプ（短期社会適応訓練）
 スマイルワン仙台にて視覚障がい児キャンプを実施した。7家族が参加し、視覚障がい児は7人、家族含め合計19人参加した。内新規参加者は4家族であった。
- (7) 各種研修会への参加
 福島県で開催された視覚障害リハビリテーション研究発表大会に2人の職員が発表した。
- (8) 講師派遣
 講師派遣の依頼を受け、支援者向けの講習会を福島県で1回、山形県で4回、宮城県で2回、静岡県で2回、計141人に対して実施。当事者向けの講習会は福島県で9回、山形県で3回、宮城県で1回、岩手県で1回、静岡県で2回、茨城県で1回、計164人に対して実施した。なお、協会の自主事業として支援者向け講習会を1回実施した。また、ソフトバンク株式会社の協力を得て、iPhone講習会を4回開催し、37名が参加した。
- (9) パートナーズの発行
 ユーザーをはじめとする視覚障がい者への情報提供ツールとして年4回発行した。

5. 啓発事業

- (1) 盲導犬普及啓発街頭活動
 多くの市民に実際に盲導犬をみてもらうことで、視覚障がい者と盲導犬（補助犬）の受入れの促進と、視覚障がいと盲導犬への理解をはかることを目的とし、「Heart to Heart」の精神で盲導犬普及啓発街頭活動を積極的に展開、ユーザー・ボランティアと職員が一致協力して、各訓練センターが地域に根差した独自の街頭活動を合計570回実施した。
- | | | |
|------------|----|------|
| ① 神奈川センター | …… | 179回 |
| ② スマイルワン仙台 | …… | 203回 |
| ③ 富士ハーネス | …… | 81回 |
| ④ 島根パピネス | …… | 107回 |

(2) 盲導犬普及商業施設活動

(i) デパート・スーパーでの「盲導犬ふれあい広場」の開催

商業施設の協力を得て、視覚障がいと盲導犬への理解をはかることを目的とし、商業施設内において盲導犬普及啓発活動を下記のとおり合計103回実施した。

① 神奈川センター	…… 61回
② スマイルワン仙台	…… 24回
③ 富士ハーネス	…… 6回
④ 島根パピネス	…… 12回

(ii) 全国盲導犬施設連合会「全国盲導犬普及キャンペーン」への参加

全国盲導犬施設連合会主催の「全国盲導犬普及キャンペーン」に合計17回対応した。

① 神奈川センター	…… 15回
② スマイルワン仙台	…… 2回
③ 富士ハーネス	…… 0回
④ 島根パピネス	…… 0回

(3) 訓練センター外でのイベント・講演・実演等

新学習指導要領「総合的な学習」や、PTAの「家庭教育学級」として小中学校から実演・講演の依頼や、身体障害者補助犬法の理解促進、社会貢献活動として企業団体からの実演・講演の依頼に対して合計261回実施した。

実演・講演

① 神奈川センター	…… 113回
② スマイルワン仙台	…… 53回
③ 富士ハーネス	…… 53回
④ 島根パピネス	…… 42回

贈呈式

① 神奈川センター	…… 54回
② スマイルワン仙台	…… 31回
③ 富士ハーネス	…… 24回
④ 島根パピネス	…… 13回

(4) 盲導犬学校キャラバン

次世代を担う子供たちに対して視覚障がいと盲導犬への理解をはかることを目的とし、全国の小中学校訪問活動を中心とする盲導犬学校キャラバンを実施。総合的な学習の一環として合計321回実施した。

① 神奈川センター	…… 81回
② スマイルワン仙台	…… 90回
③ 富士ハーネス	…… 48回
④ 島根パピネス	…… 102回

(5) 理解促進イベント

各訓練センターで、盲導犬体験活動を通じた啓発イベントを開催した。

① 神奈川センター

神奈川県立こども医療センター（横浜市）、茨城県立こども病院（茨城県）、沖縄県立南部医療センター・こども医療センター（沖縄県）、聖マリアンナ医科大学病院（川崎市）、川崎市立多摩病院（川崎市）を計52回訪問した。また、在宅型有料老人ホーム2施設への訪問を実施。盲導犬PR犬とのふれあいを通してAAAを実施した。

② スマイルワン仙台

身体障害者補助犬法の周知および補助犬受入促進を目的に、企業・団体に対して、補助犬受入セミナーを合計13回実施した。接客責任者が受講し補助犬同伴者への対応について理解と協力を求めた。また、新規ユーザー在住の12市町の首長を訪問し、盲導犬の受入れ促進を要請した。

③ 富士ハーネス

GW、夏期休暇期間に特別イベントを開催、12月にキャンドルナイトを開催した。10月のユーザーの会の研修旅行に合わせ、富山市中心部にて盲導犬の受入れ促進を目的とした「パレード」を開催した。また、代替ユーザー在住の2市町の首長を訪問し、盲導犬の受入れ促進を要請した。

④ 島根パピネス

中国・四国地方（島根、広島、岡山、愛媛県を中心とした）企業・団体に対し、身体障害者補助犬法の周知、及び盲導犬の受入れ促進を目的に補助犬受入セミナーを合計6回実施した。

（6）見学会の開催

各訓練センター内で見学会を次のとおり実施した。

① 神奈川センター	見学会	2回	（参加者数	94人）
	団体見学会	25回	（参加者数	575人）
② スマイルワン仙台	見学会	8回	（参加者数	67人）
	団体見学会	40回	（参加者数	1,340人）
③ 富士ハーネス	見学会	通年	（参加者数	13,787人）
	団体見学会	204回	（参加者数	6,252人）
④ 島根パピネス	見学会	9回	（参加者数	338人）
	団体見学会	42回	（参加者数	880人）

（7）広報活動

（i）会報誌「盲導犬くらぶ」の発行

A4版16ページの会報誌を、年4回（78号～81号）、合計193,965部、音声CD718部発行した。

（ii）電子メディアの運営

① ホームページの運営

年間訪問者数366,228人。協会ポリシーを伝える新コンテンツを新設した。

② SNS、ブログ運営

ACジャパンCMと連動したフェイスブックページを開設。

ツイッターフォロワー数4,812人、アメーバブログ143回配信した。

(iii) 情報管理

盲導犬に関する情報提供を全国盲導犬施設連合会でも共有し、必要であれば都道府県へも報告するシステムを構築した。

(iv) メディアへの掲載 総合計 424回

	神奈川センター 東京本部	スマイルワン仙台	富士ハーネス	島根パピネス
新聞	33	61	42	30
テレビ	14	30	12	25
WEB	44	6	3	6
その他	51	22	12	33
合計	142	119	69	94

6. 関係団体協力事業

(1) 日本盲導犬協会ユーザーの会、ボランティア委員会との協力

ユーザーの会主催の総会、盲導犬歩行ワークショップ開催への支援・協力を行うことにより、ユーザーとの協力・連携を深めた。また各センターで慰霊式を開催し、多くの盲導犬ユーザー、ボランティアの参加を得た。

(2) 全国盲導犬施設連合会、全日本盲導犬使用者の会、アジア・ガイドドッグ・ブリーディング・ネットワーク（以下、AGBN）、その他補助犬団体への協力

①全国盲導犬施設連合会の「運営委員会」「訓練士認定委員会」の委員として、連合会の運営に貢献した。第1回盲導犬育成ジャパンセミナーを主管団体として開催した。

②全日本盲導犬使用者の会の総会の開催を支援した。

③AGBNの実務委員の副幹事として運営に貢献、他の育成団体との情報交換、繁殖協力、IFT・BCLテストに協力した。

(3) 日本盲人社会福祉施設協議会、日本盲人福祉委員会、日本動物病院福祉協会、視覚障害リハビリテーション協会、日本身体障害者補助犬学会、日本介助犬協会、聴導犬育成団体、県市社会福祉協議会等への協力

①日盲社協の理事・評議員として貢献し、自立支援施設部会職員研修会を開催した。

②日本盲人福祉委員会の災害支援協力要請を受けた。

③日本介助犬協会の評議員として貢献し、普及活動に協力した。

④視覚障害リハビリテーション協会、日本身体障害者補助犬学会の事務局運営に貢献するとともに、各種団体との連携を深め広く協力体制を整えることにより、福祉事業としての一層の充実と発展を図ることを目的として活動した。

(4) 国際盲導犬連盟（IGDF）への協力

IGDFの理事としてIGDFの運営に貢献した。

7. その他

(1) ACジャパンの支援による広報

ACジャパンの支援により、テレビ、ラジオ、映画、新聞、雑誌、駅貼りポスター、吊り広告などの広報媒体でCMが流れた。なお、2015年7月1日に2作目のCMに切り替わった。

3年目となる2016年度の広報支援も決定した。

(2) 人材育成

自由研究およびQCサークル活動を奨励、職員研究発表大会を2015年12月に開催し、11題が発表された。

同行援護従事者研修に職員5人を派遣した。

盲ろう者福祉ワーカー研修会に訓練士1名を派遣した。

視覚障害生活訓練等指導者養成課程に訓練士2名を派遣した。

准認定ファンドレイザー資格取得研修に職員2名を派遣した。

(3) 東日本大震災支援

被災地域から要請のあったリハビリテーションに対し、在宅訓練として実施した。

(4) 協会ICTインフラの整備

情報セキュリティの基盤強化のため、拠点内および拠点間のインフラを再整備し、システム基盤の更改を実施した。

(5) 訓練用地の購入

神奈川センターの用地の借地期限が満了にともない、用地を購入した。

II. 管理・運営

1. 理事・監事・評議員の状況

総数（平成28年3月31日現在）

理事…14人、 監事…3人、 評議員…11人

2. 理事会・評議員会・常任理事会の開催状況

（1）理事会の開催状況

開催年月日	現在数	出席数	議案	審議結果
平成27年 5月22日	14人	13人	第1号議案／平成26年度事業報告及び決算報告の件 第2号議案／役員規程の変更の件 第3号議案／常勤役員の報酬額の件 第4号議案／評議員会 開催の件	議決 (賛成多数)
平成27年 10月28日	14人	11人	第1号報告／平成27年度 上半期事業及び収支報告 第2号報告／常任理事の職務の分担執行状況の報告	議決なし
平成28年 3月22日	14人	10人	第1号議案／平成28年度事業計画及び予算の件	議決 (賛成多数)

（2）評議員会の開催状況

開催年月日	現在数	出席数	議案	審議結果
平成27年 6月23日	11人	9人	第1号議案／平成26年度事業報告及び決算報告の件	議決 (賛成多数)
平成27年 10月28日	11人	9人	第1号報告／平成27年度 上半期事業及び収支報告 第2号報告／常任理事の職務の分担執行状況の報告	議決なし

（3）常任理事会の開催状況

常任理事会を次のとおり開催し、日常業務の執行及び重要業務の協議決定を行った。

平成27年4月15日、5月14日、6月16日、7月24日、8月21日、9月16日、
10月23日、11月16日、12月15日。

平成28年1月20日、2月23日、3月4日。

3. 職員の状況

平成28年3月31日現在の職員の状況は以下の通りである。

センター	部署	男	女	計
東京本部	総務部	5	5	10
	普及推進部	2	2	4
	センター計	7	7	14
神奈川センター	総務部	1	0	1
	訓練部	6	18	24
	ユーザーサポート部	2	2	4
	普及推進部	1	3	4
	センター計	10	23	33
スマイルワン仙台	総務部	1	1	2
	訓練部	2	6	8
	ユーザーサポート部	0	3	3
	普及推進部	1	2	3
	センター計	4	12	16
富士ハーネス	総務部	1	2	3
	訓練部	4	8	12
	ユーザーサポート部	0	1	1
	普及推進部	1	3	4
	センター計	6	14	20
島根パピネス	総務部	1	0	1
	訓練部	3	4	7
	ユーザーサポート部	0	0	0
	普及推進部	2	1	3
	センター計	6	5	11
職員合計	総務部	9	8	17
	訓練部	15	36	51
	ユーザーサポート部	2	6	8
	普及推進部	7	11	18
	総計	33	61	94
常勤理事		2	0	2

育休者、パート職員は含まない。センター長・東京本部長は総務部に含める

平成27年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」は存在しないので記載を省略する。

公益財団法人 日本盲導犬協会